

○ 委員長報告

9月定例本会議で報告された環境保健福祉委員長報告は、以下のとおりです。

令和8年9月定例会

環境保健福祉委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、南海トラフ地震防災力強化支援事業についてであります。

このことについて一部の委員から、本事業の具体的な内容とその効果はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本事業は新地震被害想定を踏まえた地域の課題に対応するため、新たに「南海トラフ地震防災力強化支援補助金」を創設し、市町の防災・減災対策を強力に後押しする3つの事業を展開する。具体的には、早期避難対策として、津波避難ビルへの地震連動型キーボックスの設置や、避難路等への外灯・転落防止柵の整備等を支援するとともに、孤立集落対策として、衛星インターネット通信機器やポータブル電源等の整備を支援し、住民の迅速かつ安全な避難行動や逃げ遅れ防止、災害関連死の防止を図るほか、受援体制の強化として、即時応援県である群馬県の市町村と本県市町との関係構築等の取組を支援し、迅速な被災者支援や生活再建につなげていきたい旨の答弁がありました。

第2点は、台湾屏東県との交流促進についてであります。

このことについて一部の委員から、屏東県訪問団の来県目的やその結果、また、今後の交流はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、屏東県とは、自然環境分野をはじめとする幅広い分野で相互交流を促進していく覚書を7月29日に締結し、9月9日から5日間の日程で屏東県政府職員6名が来県した。県庁への表敬訪問の後、南予5市町で、滑床溪谷でのキャニオニングなど、その特色や魅力の体験を通じて、本県への知見を深めていただくとともに、関係者と親交を深める貴重な機会となった。

今月上旬には、屏東県で開催される国際交流イベントに、南予5市町とともにPRブースを出展するほか、12月には南予の高校生による屏東県の高校への訪問、来年2月には宇和島市産業まつりでの屏東県の紹介ブースの出展などの

交流を計画している旨の答弁がありました。

第3点は、介護支援専門員安全確保対策緊急支援事業についてであります。

このことについて一部の委員から、事業実施の背景と目的、また、人材確保に向けた取組はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、単身で利用者宅を訪問することが多い介護支援専門員が、本年6月に県外の利用者宅で被害にあった事件を受け、安全確保の徹底が求められるとともに、10月からのカスハラ対策の義務化などに対応するため、更なる安全確保対策を緊急的に実施することとした。

具体的には、複数名での同行訪問に必要な経費の補助と、人材確保のための広報活動に対する補助を実施するほか、従来から設置している相談窓口を拡充するなど、介護支援専門員が安心して働くことができるよう取り組むこととしている。

介護職員の確保は喫緊の課題であり、外国人介護人材も含め、あらゆる取組を総動員し人材確保に努めたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・伊方発電所1号機の廃止措置
- ・河川ごみ対策
- ・熊本地震災害ボランティア派遣事業
- ・災害時に備えた医薬品供給体制
- ・医療技術大学卒業生の県内就職率向上

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願3件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。